

# 長崎県の海藻 (西海市)



西日本オーシャンリサーチ

JF 全漁連

※この資料の著作権は西日本オーシャンリサーチに帰属します。  
無断転載は禁止します。

## 大瀬戸・瀬川で見られるホンダワラ科藻類



単一群落(瀬川・小郡)



若芽

### マメタワラ

形態	付着器は盤状で、扁平な主枝を持つ 気胞は球形
成熟期	初夏
分布	大瀬戸では松島に分布する
その他	瀬川では優占種 時に大型藻場を形成する



### マジリモク

形態	付着器は盤状で、主枝は円柱状 気胞は球～楕円形
成熟期	春～夏
分布	大瀬戸では松島の内湾に群落を形成する 瀬川では稀



## ヒジキ

形態	付着器は繊維状で、主枝は円柱状 気胞は紡錘形
成熟期	春
分布	大瀬戸は各地、瀬川は宇久米に密生 もっとも浅場に生育



## イソモク

形態	付着器は繊維状で、主枝は丸みのある3稜形 気胞は楕円～洋梨形
成熟期	春～夏
分布	大瀬戸では鎌崎、瀬川は宇久米に点生 浅場に生育する種



## ウミトラノオ

形態	附着器は平たい盤状で、主枝はやや角ばる 気胞は紡錘状
成熟期	春～初夏
分布	大瀬戸では各地、瀬川は宇久米・高知 ヒジキとほぼ同じ水深帯に生育

# 大瀬戸で見られるホンダワラ科藻類



単一群落(鎌崎)



幼芽

## キレバモク

形態	付着器は盤状で、主枝は角ばっており、棘が密生する 気胞は卵形～球形
成熟期	春～初夏
分布	鎌崎では優占種のひとつ



雌性生殖器床



幼体

アカモク

形態	<p>付着器は仮盤状で、主枝を持たない</p> <p>茎には縦の筋がある</p> <p>葉は切れ込みが深い</p> <p>気胞は円筒状で長く、頂端に冠葉がある</p> <p>生殖器床は大きく、受精卵は肉眼で見える</p>
成熟期	<p>冬～春</p> <p>成熟時期が長く、各地で差がある</p>
その他	<p>全国各地で盛んに取り上げられ、利用価値が高くなっている</p> <p>鎌崎、松島ではスポアバッグを使用し、母藻を投入している</p>



### ヨレモクモドキ

形態	付着器は円錐状で、主枝は2稜形 気胞は倒卵～楕円形
成熟期	晩春～初夏
分布	鎌崎で見られるが、個体数は少ない
その他	大型藻場構成種のひとつである



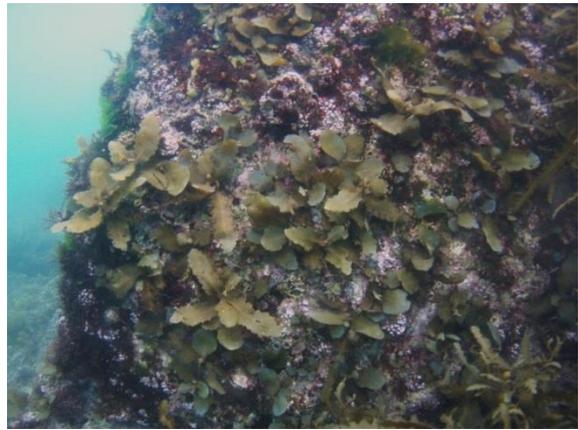
### ヒイラギモク (旧フタエモク)

形態	付着器は仮盤状で、主枝は円柱～扁圧する 気胞は球形で翼がある
成熟期	春～初夏
分布	鎌崎で見られるが、個体数は少ない 主に浅場に生育する
その他	ゴワゴワした感じの見た目をしている

## 周辺海域で見られるホンダワラ科藻類



ノコギリモク群落(多年生)



ノコギリモク幼体



ヤツマタモク群落(大型藻場構成種)



ヤツマタモク若芽

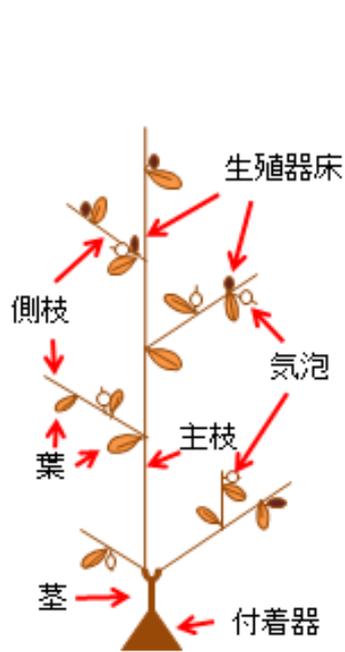


エンドウモク



トゲモク

## モクの種類の見分け方



- 付着器 —  円錐状 (ノコトゲ・ヨレ・ネジ・オオバモク)  
 盤状 (マホ・ヤツマタ・タマハハキモク, 他)  
 仮盤状 (アカモク・ホンダワラ, 他)  
 繊維状 (イソ・タマナシモク, 他)

主枝 — 断面が三角形、円形、扁平  
表面にねじれ、棘を持つ

葉 — 線状、鋸歯状、へら状、羽状、糸状

気泡 — 球状、紡錘状、卵状、円柱状  
先端に冠葉あるいは側縁に翼を持つ

生殖器床 — 成熟期のみ見られる  
殆どの種類が雌雄株を持つ  
円柱状、扁平、叉状、棘(有り)

出典: 西日本オーシャンリサーチ